

問1 天平文化が隆盛を極めた奈良時代において、聖武天皇が仏教を厚く保護し、国の政治に取り入れた理由として最も適切な説明はどれですか。（2017年 静岡公立入試 類似）

1. 疫病や政情不安が続く中、仏教の力で人々の心を安定させ国家を維持しようとしたため
2. 武士の力を抑制するために、寺院に独自の軍事力を持たせて権力の均衡を図ったため
3. 摂政や関白による政治を終わらせ、天皇が直接政治を行うための新しい理論が必要だったため
4. キリスト教の伝来に対抗して、日本古来の神道と仏教を融合させて新しい宗教を作るため

問2 奈良時代の税制度について、平城宮跡から出土した「塩三斗」や「海藻六斤」といった記述がある木簡（荷札）が証明している税の仕組みとして、正しい説明はどれですか。（2026年 山口公立入試 類似）

1. 口分田の面積に応じて、収穫した稲の約3%を地方の役所に納める仕組み。
2. 都での労役の代わりとして、麻布などを都へ運んで納める仕組み。
3. 地方の特産品を都まで運び、中央政府の財源として納める仕組み。
4. 地方の国府において、年間60日を限度として土木工事などの労働に従事する仕組み。

問3 8世紀の日本では、仏教の教えが広まる一方で、僧侶が守るべき厳格な規律が整っていないという課題がありました。この状況を改善するために、聖武天皇の招きに応じ、5度の渡航失敗や失明という苦難を乗り越えて唐から来日した高僧は誰ですか。（2025年 神奈川県公立入試 類似）

1. 鑑真
2. 行基
3. 最澄
4. 空海

問4 奈良時代、日本では中国の王朝でつくられた貨幣にならい、円形で中央に正方形の穴が開き、表面に文字が刻まれた形式の貨幣が鑄造されました。この貨幣のモデルとなり、当時の日本が政治や文化の手本とした中国の王朝を選びなさい。（2017年 三重公立入試 類似）

1. 唐
2. 宋
3. 元
4. 明

問5 奈良時代、聖武天皇の時代を中心に栄えた文化について、遣唐使などの往来を通じて西アジアやペルシアなどの影響を強く受けた、国際色豊かな特色を持つ文化の名称として正しいものを選択してください。（2019年 岡山公立入試 類似）

1. 天平文化
2. 国風文化
3. 化政文化
4. 飛鳥文化

問6 律令制度における兵役の一つである「防人」について、その実態を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2016年 三重公立入試 類似）

1. 九州北部の沿岸警備を目的とし、主に東国の農民が3年の任期で派遣された。
2. 都の宮中の警備を目的とし、全国の農民が1年の任期で交互に派遣された。
3. 東北地方の蝦夷の反乱を抑えるため、志願した農民が永住を前提に派遣された。
4. 外国船の来航に備えるため、江戸幕府が西国の諸大名に命じて組織させた。

問7 奈良時代、全ての土地と人民は国家のものとする「公地公民」の原則が崩れるきっかけとなった、新しく開墾した土地を永久に自分のものにするのを認めた法律を何というか。（2024年 静岡公立入試 類似）

1. 墾田永年私財法
2. 班田収授法
3. 三世一身の法
4. 地租改正法

問8 奈良時代の政治の中心となった平城京の構造やその背景について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2022年 愛媛公立入試 類似）

1. 当時の東アジアで強大な勢力を持っていた唐の長安を模範とし、大規模な都市計画に基づいて建設された
2. 山や海に囲まれた要塞としての機能を重視し、武士の館を中心とした複雑な路地を持つ構造となった
3. 天皇の権威を示すため、古墳時代の伝統的な前方後円墳の形を模した区画割が採用された
4. 商業の発展を優先し、各地からの物資が集まりやすいよう海沿いの港町として設計された

問9 聖武天皇が仏教の力で国家を守ろうとし、国ごとに国分寺や国分尼寺を置き、都には大仏を祀る東大寺を建立させた時代区分を選びなさい。（2017年 北海道公立入試 類似）

1. 奈良時代
2. 飛鳥時代
3. 平安時代
4. 鎌倉時代

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 疫病や政情不安が続く中、仏教の力で人々の心を安定させ国家を維持しようとしたため	奈良時代中頃、藤原広嗣の乱などの政情不安や、天然痘の爆発的な流行による甚大な被害が発生しました。聖武天皇は、武力や法制度だけでは解決できないこれらの社会混乱に対し、仏教という宗教的な権威を用いることで、国家の平穏を取り戻そうと試みました。この目的のために巨額の財政を投じて大仏や国分寺が造営され、結果として仏教中心の華やかな天平文化が発展することとなりました。
問2	<b>答え 3</b> 地方の特産品を都まで運び、中央政府の財源として納める仕組み。	木簡に記された「塩」や「海藻」は、その土地ならではの特産品を納める「調」に該当します。この税は、布を納める「庸」とともに、成年男子（正丁など）が都まで直接運搬して納めることが義務付けられていました。一方、稲を納める「租」は地方の倉庫に保管され、地方官庁の運営費などに充てられたという違いがあります。
問3	<b>答え 1</b> 鑑真	当時の日本には僧侶が正式な資格を得るための「戒律」を授ける仕組みが不足していました。唐の僧である鑑真は、この戒律を伝えるために日本へ渡り、東大寺に戒壇（戒律を授ける場所）を設けました。これにより、国家公認の僧侶としての質を維持する制度が確立されました。選択肢にある行基は民衆への布教や社会事業、最澄と空海は平安時代初期に新しい仏教を伝えた人物です。
問4	<b>答え 1</b> 唐	奈良時代、日本は遣唐使を派遣するなどして、中国の「唐」の制度や文化を積極的に取り入れられました。貨幣についても唐の「開元通宝」をモデルとして、708年に「和同開珎」がつくられました。都である平城京には、各地の産物が集まる東の市・西の市が設けられ、貨幣を用いた交易が推進されました。
問5	<b>答え 1</b> 天平文化	聖武天皇の時代には遣唐使が頻繁に派遣され、唐の優れた制度や仏教とともに、シルクロードを経由して西アジアの意匠や技術が日本にもたらされました。この時期の文化は、当時の都である平城京を中心に展開され、仏教的・国際的な色合いを強く帯びているのが特徴です。
問6	<b>答え 1</b> 九州北部の沿岸警備を目的とし、主に東国の農民が3年の任期で派遣された。	白村江の戦いでの敗北後、大陸からの侵攻に備えるために九州北部の防衛体制が強化されました。防人はその中核を担いましたが、家族と離れて遠方へ赴く苦しみや生活の困窮は激しく、その様子は『万葉集』に収録された「防人歌」からも読み取ることができます。
問7	<b>答え 1</b> 墾田永年私財法	743年に制定されたこの法律は、人口増加に伴う口分田の不足を解消するため、開墾を奨励する目的で出されました。これにより土地の私有化が認められるようになり、律令国家の原則である公地公民制が大きく変化することとなりました。
問8	<b>答え 1</b> 当時の東アジアで強大な勢力を持っていた唐の長安を模範とし、大規模な都市計画に基づいて建設された	平城京の建設には、律令国家としての威信を内外に示す目的がありました。そのため、当時の先進的な文明国であった唐の首都・長安をモデルにした大規模な都市計画が実行されました。南北に走る朱雀大路を中心に、整然とした碁盤の目状の街並みが広がる構造は、集権的な国家体制を象徴するものでした。
問9	<b>答え 1</b> 奈良時代	平城京に都が置かれてから平安京に移るまでの期間を指し、天平文化と呼ばれる仏教文化が栄えた。